

6.1 便利さとルールと心の問題

(1) 便利になったら新しいルールが必要

便利になったからといって、何でも良くなるとは限りません。便利になった分だけ危なくなったり、便利な方法を使って、他人に迷惑をかけたり、悪いことをする人も出てきます。ですから、便利な社会には、それにあった新しいルールやマナーが必要です。

たとえば、多くの人が自動車を使うようになって、人や物の移動は簡単にできるようになりましたが、車同士や、自動車と人の衝突は、人間同士の衝突に比べて、大きな被害につながるようになりました。ですから、事故が少なくなるように道路に信号機を設けたり、走行車線を分けたり、横断歩道を設けたりします。

運転したり、道を歩く人たちが守らなければならない道路交通法が決められます。乱暴な運転をする人から運転免許を取り上げたり、罰金を課すための取締りも必要になります。安全運転や交通マナーについての教育も行われます。

同様に、便利なインターネット社会でもインターネットが使われていなかった時代とは、別のルールやマナーが必要になります。

